

令和6年度 河合町総合計画策定審議会 第2回会議 会議録（概要）

日 時：令和6年12月20日（金）15時から17時

場 所：役場3階第6会議室

出席者：下記のとおり

●河合町総合計画策定審議会委員 （敬称略：五十音順）

	氏 名	団体・職名
1	岩崎 勝重	公募委員
2	岡田 康則	河合町議会 議員
3	梶原 良雄	公募委員
4	坂本 博道	河合町議会 議員
5	杉山 晋平	天理大学社会教育学科 准教授
6	高岡 宏芳	河合町総代・自治会長会 会長
7	中山 智子	大和大学白鳳短期大学部 学長
8	福本 優子	河合町教育委員会 委員
9	堀内 秀悟	河合町都市計画審議会 委員
10	村田 雅信	公募委員

●河合町

総務部 部長	上村 卓也
政策調整課 課長	岡田 健太郎
政策調整課 課長補佐	林 嘉明
政策調整課 主事	浦西 泰輔

会議要旨：下記のとおり

1 開会

2 河合町まちづくり自治基本条例

・事務局より説明（資料１、２）

委員意見
● 総合計画は町の最上位計画であり、河合町まちづくり自治基本条例の基本理念に従って策定するものである。町の今後を示す重要な指針として、条例と総合計画の関係性について随時確認し、整合性をとることが必要。

3 河合町総合計画（案）

・事務局より説明（資料３ 第１章序論）

委員意見
● 総合計画とは具体的にどれを指すのかわかりやすい図にしてはどうか。 ● 総合計画の計画期間（１０年）をもっとわかりやすく示すべき。 ● 実施計画の計画期間はどのように考えているのか。 （事務局）３年間を計画期間として、毎年度見直しをするローリング方式で進めていく予定である。 ● 普段聞き慣れない言葉については、注釈等をつけてわかりやすくすべき。

・事務局より説明（資料３ 第２章基本構想）

委員意見
● どのような経緯でこの基本方針を提案するに至ったのか。 （事務局）河合愛AI構想、現在取り組んでいる事業をもとに、今後の河合町にとって何が重要であるかを庁内で議論し、第１回審議会が出た意見も反映した上で、設定した。 ● 公共施設の再整備についても記述してはどうか。 ● 老朽化している施設の活用方法（停止も含めて）を検討していくべき。 ● どのように整備していくのかを町民にわかりやすい形で周知が必要。

委員意見

【基本方針１の内容について】

- 公園の草刈り等について、ボランティアの団体が立ち上がってきている。具体的にこういった形で協働していくのか議論を進めることが必要。
- 主な取組については、現在の達成度合いや、どこまで具体的に記載するのか等を考慮した上で記載すべき。
- 療育手帳に関する相談も増えており、療育について記載してはどうか。
- 子育て中の親同士の繋がりや、地域の繋がりを作る取組（子育てしやすい地域づくり）について記載してはどうか。
- 施策の方向２について、地域と協働して環境を整備する具体的な取組を記載してはどうか。
- 健康寿命について、現状や目標等の具体的な数値を記載してはどうか。
（事務局）今回の会議では示せていないが、「施策の方向に係る指標」として、いくつか具体的な数値を掲載する予定である。
- 核家族が増えている中で、横の繋がりがなくどこにも相談できない親も増えている。身近な地域の方と交流できる機会を増やすべき。
- 高齢の方が増えていく中で、移動手段を充実させていくことが必要。
- 「すな丸号」についてもう少し詳しく記載してはどうか。
- 駅のバリアフリーについて記載してはどうか。
- 町営住宅の長寿命化について、画一的な対応をするのではなく、根本的にどれだけ必要かも含めて議論が必要。
- 道路交通網の整備は町民の関心が高く重要な課題である。数値で目標等を示すことも必要ではないか。
- 総合計画に道路の整備計画を掲載する場合は、精査が必要。

【基本方針２の内容について】

- ごみの分別について、全町民が協力して行うことを明記すべき。
- 高齢化が進む中で、自治会の現状も踏まえながら、ごみの収集・回収のあり方も議論が必要。
- 防犯・交通安全について、もちろん全てを実現できればいいが、職員の数も減っている中で、取り組む事業については精査すべき。

- 困難な地域課題がある中で、行政と町民が知恵を出し合いながら解決策を考えたり、先進的な取組を共有し学び合ったりする機会が必要。
- 防犯灯の維持管理については、自治会と協働して対応が必要。
- 旧第三小学校跡地等利活用推進事業について、現状に合った記載が必要。

【基本方針 3 の内容について】

- Society5.0 についてもう少し説明が必要。
- これまで進めてきた少人数学級について記載してはどうか。
- 部活動は、全国的に地域移行が進んでおり、現状に合った記載が必要。
- 町民同士が教え合う、学び合う「町民大学」で地域の「人づくり」が進んでいる。庁内の課同士で共有し、連携して取組を重ねていくべき。

【基本方針 4 の内容について】

- 西大和ニュータウンの活性化について、取り組んでいることはあるか。
(事務局) 民間企業とも連携しながら、様々な取組を進めている。
- 河合町出身で著名な方のPRを進めてはどうか。
- 企業誘致は、町に大きく影響を与える事柄なので、注視していくべき。
- 町の活性化のためには、現在使用されていない郵政の研修センターの利活用について検討すべき。

(事務局) 町の所有ではないが、町の中心にあり、町としてもどのように利活用していくか交渉を重ねてきている。今後も検討していきたい。

- 若い世代が町の行事にもっと参加できるようにしていくべき。そうすることで、若い世代がSNSで発信して町がより活性化していく。
- 30、40代の世代が活躍し、町のよさを発信していける場を作るべき。
- 大塚山古墳は観光の目玉となるので大きくPRしていくべき。
- 公民館の移設に伴い、文化財展示室をどこに設置するか精査すべき。

【基本方針 5 の内容について】

- スマート農業についてもう少し説明が必要。
- 使用していない田んぼを活用する「たんぼの楽耕」は素晴らしい取組であり、活発化してきている。PRも込めて記載してはどうか。

【基本方針 6 の内容について】

- D X 推進についてもう少し説明が必要。
- 経常収支比率について、目標値を設定して掲載してはどうか。
- 個人情報保護委員会の表記について現状に合った記載になっているか。
- 行政と町民との連携・協働は、計画全体を通して重要視されている。総合計画策定後に、計画の推進や進行管理等についても町民を巻き込んで協議していくなど、連携・協働を推進していく具体的な手だてを検討すべき。

4 その他

- ・ 町ホームページにて議事録を公開する
- ・ 1 月にパブリックコメントを実施予定
- ・ 次回の日程は 2 月 7 日（金）を予定

5 閉会